

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2371500642		
法人名	有限会社 アメニティホーム		
事業所名	アメニティホーム本郷 (2F)		
所在地	愛知県名古屋市長区高柳町323-1		
自己評価作成日	平成26年 9月 5日	評価結果市町村受理日	平成27年 4月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JiyosyoCd=2371500642-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 中部評価センター		
所在地	愛知県名古屋市緑区左京山104番地 加福ビル左京山1F		
訪問調査日	平成26年 9月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様、一人一人の思いや気持ちを大切に、個々の希望に添えられる支援ができるよう努めています。
その時々、の場面に合った声かけや見守りを大切に、ADLを維持できるよう努めています。
対面式キッチンで、調理中のおいを感じて頂きながら毎食、出来立ての食事を召し上がって頂いてます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者を敬うことを忘れずに、毎日その人らしく過ごせるよう「やりすぎない介護」を行なっている。
現在、その人らしさを最大限に発揮できるような介護計画作成やアクティビティを取入れた予防介護の取り組みを始めている。
チームケアの体制を徐々に整えている。ユニットリーダーを1名配置したことで、家族との情報のやりとりや職員の意見の集約等が進んでいる。
利用者や家族へのサービス向上のため、管理者、職員共に一歩一歩向上しているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々、の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「私たちは利用者様の気持を大切にします。」 「私たちは利用者様の自立的生活援助を行いません。」	事業所理念に基づき、見守り中心のやりすぎない介護を実践している。管理者、職員共々、利用者の自由を尊重し、転倒のない介護に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会し、地域の方々と触れ合える行事等に参加できるよう、努力しています。散歩の時などは、挨拶や声かけを積極的に行なっています。	散歩で出会う近隣住民と言葉を交わし交流を図ったり、町内の清掃活動に参加している。管理者は認知症サポーター養成講座の開催を計画しており、ポスターで事業所の存在を地域に広く周知したいと考えている。	認知症サポーター養成講座の開催など、ホームの今後の地域貢献に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の一員として自治会に参加できるよう努力しています。 地域行事と時間帯が合わない。 (利用者様の身体レベルの低下)		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催。利用者様、ご家族、民生委員、自治会長等の方々に参加して頂けるよう、積極的に声かけをしています。 認知症への理解・地域への情報発信の場として定期的に開催するよう努めています。	参加者を講師とした勉強会やホーム行事を同時開催し、ホームの現状報告や向上に向けた取り組みをしている。地域代表の参加が厳しい中、あきらめることなく声かけを続けた結果、次回からの参加を得る事ができた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市や区の窓口へ提出書類を持参した際に、ホームの情報を提供したり、情報を頂くなどサービスの向上に努めています。	区福祉課主催の情報交換会に参加し情報収集を行っている。いきいき支援センター職員が運営推進会議に参加しており、事業所の現状を理解して様々な情報提供を行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に身体拘束は行ないません。 ご本人の安全確保のため、やむおえない場合にのみ行ないますが、ご家族と話し合い、同意を得ています。(同意書を頂いています。)施設内研修として「身体拘束について」カンファレンス時に話し合っています。	行動制限検討委員会を設置し、身体拘束について様々なケースを検討している。管理者はスピーチロックについては特に気を配り、職員教育に注力している。建物の構造上、入口は安全確保のため家族の理解を得て施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修として「虐待防止」についてカンファレンスで話し合っています。 身体的な虐待を防止するだけでなく、心・プライドを傷つけない言葉遣いで対応するよう努力しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様が必要とされた時、支援します。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約内容の説明をしています。日頃から気兼ねなく話し(質問・相談)が出来るようご家族ともコミュニケーションをとれるよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が訪問された際に気軽に話が出るようコミュニケーションがとれるように努めています。運営推進会議やクリスマス会、夏祭りなど施設の行事も実施し、コミュニケーションのとれる場所を作るよう努めています。	家族は来訪時には忌憚なく意見、要望を出しており、事業所は即時対応して良好な関係が築かれている。頻回に来訪できない家族にも手紙や電話でコミュニケーションをとるよう努めており、家族の満足度は高い。	遠方等でなかなかホームへの来所が難しい家族への情報提供について、今後の取組みに期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時やカンファレンス時に対応しています。気兼ねなく話が出るよう、日頃からコミュニケーションをとるよう努めています。	職員の定着率は高く、日常的に管理者と意見交換している。管理者は職員の個性を良く理解しており、職員がやりがいを感じられるよう力を発揮できる環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	仕事に対するの評価をし、ボーナスに反映しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出切る限り参加できるよう努めています。施設内でも「勉強会」の時間を多く持つよう努力する。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は、少ない。交流が持てるよう努力する。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人からの相談事や不安に対し注意深く耳を傾け、見守り、安心して頂けるよう声かけするように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設を見学にこられた時や面会時などに、ご家族と話をすることで、家族の思いや要望を受け止め、安心して任せて頂けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の都合が悪い時などは、施設側で通院に付き添ったり、その時々状況に応じて対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と職員の関係に留意しながら、利用者様一人ひとりに合ったコミュニケーションをとりながら、お互いの距離を近づけられるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催するよう努力し、施設の行事等にも参加して頂けるよう声かけし、コミュニケーションがとれるよう努めています。利用者様の1ヶ月の様子を毎月お手紙でお知らせしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の訪問、孫やひ孫の訪問も時々あります。訪問しやすい環境を作るよう努めています。なじみの場所やご近所の方との継続支援は、難しく積極的には、できていません。	家族の協力で馴染みの店での買い物や食事処へ出かけている。個人で新聞を定期購読する利用者や家族宛てにはがきを書く利用者がおり、その習慣を継続できる支援に取組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格や趣味などを把握し、より良い関わりが持てるよう心がけています。トラブルなく、穏やかに過ごして頂けるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様が入院した時などお見舞いに訪問しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時、ご本人の思いやご家族の思い、願い希望を伺っています。 日々の生活の会話や表情、仕草から、ご本人の希望を察することが出来るよう努めています。	利用者との会話には問いかけを多く用い、思いを引き出すよう努めている。意思表示が難しい利用者とは信頼関係を築き、寄り添って体で感じるものを大切にしていこうと考えている。	思いや意向の把握と介護計画とのつながりの重要性を再度話し合うことを望む。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、「本人の生活史・暮らし方」など基本情報をご家族から聞き取りを行い、把握する。他施設を利用されていた方は、ケアマネや事業所から情報を頂きは悪に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	モニタリングの際に、その時々のご過ごし方など生活記録シートに記入してもらい(職員記入)現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期カンファレンスを毎月実施しています。利用者様それぞれの現状の問題点と対策を検討しケアプランに反映。 日々の申し送りや職員間で問題点と対策を検討し実施しています。	月1回のカンファレンスで利用者個々の状態を話し合い、その結果や家族意見を含め半年に1回介護計画の見直しを行っている。計画作成担当者はもう一歩踏み込んだ計画を作りたいと考え様々な方策を模索している。	介護計画に利用者や家族の思いを反映させるためにサービス担当者会議の開催を望む。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に日々の様子や気づきを記入し利用者様の心身の状態を全職員が把握できるよう努めています。 定期カンファレンスや申し送りなどで問題点と対策を検討し、実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問歯科や訪問マッサージ、理美容(訪問)や通院付き添い等、ご本人、ご家族の希望に添えられるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、自治会長ともに懇意にしているが、運動会や敬老会など行事への参加は、積極的にはできていません。 (利用者様の都合や行事の時間帯が合わない為)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望を大切にし、対応しています。	提携医の月2回の往診、月1回の訪問歯科、週3回の訪問マッサージの支援を受けている。提携医は24時間の協力体制があり、緊急時にも即時の対応が得られている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	診療ノート、往診記録を作成し、日々の生活の中での体調変化や気づきを記入しています。 報告・連絡・相談をしっかりと行なうよう努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お見舞いに伺い、ご家族や医師から治療の経過など情報の交換や相談ができるよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に説明しています。 状況の変化に伴い、その都度ご本人・ご家族・主治医を交え話し合いを行ないます。	家族の意向を第一に、可能な限りの対応をしたいと考えており、適切な時期に医師を交えて家族と話し合いを行っている。提携医が職員に指示、指導を行い、その協力のもと看取りを行った実績がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年間計画に沿って実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回マニュアルに沿って実施しています。	年2回避難訓練を行い、スプリンクラーや消防への通報装置の設置、飲食料の備蓄がなされている。3階建ての事業所のため、階下への避難が困難な利用者はベランダへの避難を想定している。	避難訓練を火災以外の想定で行うことや避難時の地域との連携、備蓄品の内容の検討を望む。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の話をしっかりと聴き、それぞれに合わせた声かけや対応ができるよう努めています。 同じ目線、同じ立場になって対応するよう努めています。	利用者の思いや行動を否定しない対応を心がけている。また利用者に対し敬う気持ちで接し、一人ひとりのペースに合わせた支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択が可能な場面、ティータイムの飲み物選びや余暇時間の過ごし方、入浴等、日常生活のあらゆる場面で、その都度、声かけするよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々々の状態を見ながら強要はせず、ご本人の希望に添えられるよう努めています。 気の合う利用者様とのお散歩や喫茶など。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	機能面やご本人の好みを考慮しながら、季節に合わせたものを用意しています。 化粧品の購入等もご本人の希望により購入しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳の準備や後片付けなど、出きる範囲内で行なっています。職員も同じテーブルで同じものを一緒に食べています。	利用者の嗜好を把握し状態に合わせた食事を提供している。また、手作りおやつやイベント食を楽しむ機会がある。お盆拭きなど暮らしの中の役割を持つ利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活記録の記入。 利用者様それぞれに合わせた食事量や食事形態で食事が出来るよう努めています。 検食の記入。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者様の状態に応じて行っています。 必要に応じて歯科受診(訪問歯科)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様それぞれの排泄の時間帯を職員全体で把握しトイレへ誘導しています。紙パンツ・パットなどを使用している方も心身状態を見ながら、可能な限りトイレで排泄ができるよう努めています。	利用者全員の排泄状態を記録し、トイレでの排泄の維持に努めている。排泄記録や声掛け等で入居後、おむつからリハビリパンツへと排泄が改善された事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	生活記録や排便チェック表で食べ物や水分の摂取量、排泄状態を毎日確認しています。 (必要に応じて服薬)ラジオ体操や機能訓練など適度な運動を毎日実施しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様それぞれに合わせた温度調節や入浴剤を使用される方など、出きる限り希望に応えられるよう努めています。	週2回入浴の提供がある。職員との会話を楽しんだり、入浴剤の色や香りでリラックスした時間となるように支援している。入浴を好まない利用者には根気よく声掛けを行い、清潔を保つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の表情や心身状態を把握し、休息が必要と感じたらお昼寝や自室で過ごす時間を持てるよう努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1週間分の薬を管理者・職員がセットし、服薬ミスのないよう管理しています。利用者様それぞれの薬事情報を職員全体で共有し、その時々心身の状態を把握して服薬支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の得意、不得意を把握、考慮し出きる範囲内で日常生活のお手伝いをして頂いています。 レク活動では、それぞれの好みにあった楽しさを感じて頂けるよう努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様のその日の体調を把握し、散歩や外気浴を行うよう努めています。 ご本人、ご家族からの希望があれば喫茶店や買い物に出かけたり、ご家族との外出も心身状態を見ながら対応しています。	体調や天候を見ながら、近所の公園や寺院に参拝しがてら散歩を行なっている。喫茶店やコンビニエンスストアに買い物に出掛けたり、ホームの駐車場で外気浴を行う等、なるべく外の空気に触れるようにしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブルの原因になり得るため、金銭管理は、行っていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様からの希望があれば、必要に応じて対応しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	レク活動で作成した貼り絵や、花見や夏祭りなどのイベントの写真をリビングに飾っています。	利用者はソファでテレビを觀賞したり、音楽を聴いたり、思い思いに過ごしている。職員と一緒に掃除をする利用者もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者様同士がゆっくりお話ができるようソファを置いています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や旅行に行った際の写真を用意して頂き飾っています。読書の好きな方の部屋には、座りやすいイスを用意したり、TVの好きな方の部屋には、TVを用意して頂いたり、ご自分の時間が過ごせるよう努めています。	猫のぬいぐるみを置いたり、家族の写真やホームで作った作品を飾っている。テレビを見たり読書をしたりと利用者が思う過ごし方を安全に配慮しながら支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様それぞれの、その時の状況を把握し、見守りながら出来る事をして頂いてます。(掃除や洗濯など)		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2371500642		
法人名	有限会社 アメニティホーム		
事業所名	アメニティホーム本郷 (3F)		
所在地	愛知県名古屋市長区高柳町323-1		
自己評価作成日	平成26年9月5日(金)	評価結果市町村受理日	平成27年 4月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosvoCd=2371500642-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 中部評価センター		
所在地	愛知県名古屋市緑区左京山104番地 加福ビル左京山1F		
訪問調査日	平成26年 9月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様、一人一人の思いや気持ちを大切に、個々の希望に添えられる支援ができるよう努めています。
その時々々の場面に合った声かけや見守りを大切に、ADLを維持できるよう努めています。
対面式キッチンで、調理中のおいを感じて頂きながら、毎食、出来立ての食事を召し上がって頂いてます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「私たちは利用者様の気持を大切にします。」 「私たちは利用者様の自立的生活援助を行ないます。」		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会し、地域の方々と触れ合える行事等に参加できるよう、努力しています。散歩の時などは、挨拶や声かけを積極的に行なっています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の一員として自治会に参加できるよう努力しています。 地域行事と時間帯が合わない。 (利用者様の身体レベルの低下)		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催。利用者様、ご家族、民生委員、自治会長等の方々に参加して頂けるよう、積極的に声かけをしています。 認知症への理解・地域への情報発信の場として定期的に開催するよう努めています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市や区の窓口へ提出書類を持参した際に、ホームの情報を提供したり、情報を頂くなどサービスの向上に努めています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に身体拘束は行ないません。 ご本人の安全確保のため、やむおえない場合にのみ行ないますが、ご家族と話し合い、同意を得ています。(同意書を頂いています。)施設内研修として「身体拘束について」カンファレンス時に話し合っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修として「虐待防止」についてカンファレンスで話し合っています。 身体的な虐待を防止するだけでなく、心・プライドを傷つけない言葉遣いで対応するよう努力しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様が必要とされた時、支援します。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約内容の説明をしています。日頃から気兼ねなく話し(質問・相談)が出来るようご家族ともコミュニケーションをとれるよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が訪問された際に気軽に話が出るようコミュニケーションがとれるように努めています。運営推進会議やクリスマス会、夏祭りなど施設の行事も実施し、コミュニケーションのとれる場所を作るよう努めています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時やカンファレンス時に対応しています。気兼ねなく話が出るよう、日頃からコミュニケーションをとるよう努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	仕事に対するの評価をし、ボーナスに反映しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出切る限り参加できるよう努めています。施設内でも「勉強会」の時間を多く持つよう努力する。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は、少ない。交流が持てるよう努力する。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人からの相談事や不安に対し注意深く耳を傾け、見守り、安心して頂けるよう声かけするように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設を見学にこられた時や面会時などに、ご家族と話をすることで、家族の思いや要望を受け止め、安心して任せて頂けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の都合が悪い時などは、施設側で通院に付き添ったり、その時々状況に応じて対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と職員の関係に留意しながら、利用者様一人ひとりに合ったコミュニケーションをとりながら、お互いの距離を近づけられるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催するよう努力し、施設の行事等にも参加して頂けるよう声かけし、コミュニケーションがとれるよう努めています。利用者様の1ヶ月の様子を毎月お手紙でお知らせしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の訪問、孫やひ孫の訪問も時々あります。訪問しやすい環境を作るよう努めています。 なじみの場所やご近所の方との継続支援は、難しく積極的には、できていません。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格や趣味などを把握し、より良い関わりが持てるよう心がけています。トラブルなく、穏やかに過ごして頂けるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様が入院した時などお見舞いに訪問しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時、ご本人の思いやご家族の思い、願い希望を伺っています。 日々の生活の会話や表情、仕草から、ご本人の希望を察することが出来るよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、「本人の生活史・暮らし方」など基本情報をご家族から聞き取りを行い、把握する。他施設を利用されていた方は、ケアマネや事業所から情報を頂きは悪に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	モニタリングの際に、その時々のご過ごし方など生活記録シートに記入してもらい(職員記入)現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期カンファレンスを毎月実施し、利用者様それぞれの現状の問題点と対策を検討しケアプランに反映。 日々の申し送りや職員間で問題点と対策を検討し実施しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に日々の様子や気づきを記入し利用者様の心身の状態を全職員が把握できるよう努めています。 定期カンファレンスや申し送りなどで問題点と対策を検討し、実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問歯科や訪問マッサージ、理美容(訪問)や通院付き添い等、ご本人、ご家族の希望に添えられるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、自治会長ともに懇意にしているが、運動会や敬老会など行事への参加は、積極的にはできていません。 (利用者様の都合や行事の時間帯が合わない為)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望を大切にし、対応しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	診療ノート、往診記録を作成し、日々の生活の中での体調変化や気づきを記入しています。 報告・連絡・相談をしっかりと行なうよう努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お見舞いに伺い、ご家族や医師から治療の経過など情報の交換や相談ができるよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に説明しています。 状況の変化に伴い、その都度ご本人・ご家族・主治医を交え話し合いを行ないます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年間計画に沿って実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回マニュアルに沿って実施しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の話をしっかりと聴き、それぞれに合わせた声かけや対応ができるよう努めています。 同じ目線、同じ立場になって対応するよう努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択が可能な場面、ティータイムの飲み物選びや余暇時間の過ごし方、入浴等、日常生活のあらゆる場面で、その都度、声かけするよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々々の状態を見ながら強要はせず、ご本人の希望に添えられるよう努めています。 気の合う利用者様とのお散歩や喫茶など。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	機能面やご本人の好みを考慮しながら、季節に合わせたものを用意しています。 化粧品の購入等もご本人の希望により購入しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の片付け(お盆拭き)などを出きる範囲内で行なっています。職員も同じテーブルで同じものを一緒に食べています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活記録の記入。 利用者様それぞれに合わせた食事量や食事形態で食事が出来るよう努めています。 検食の記入。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者様の状態に応じて行っています。 必要に応じて歯科受診(訪問歯科)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様それぞれの排泄の時間帯を職員全体で把握しトイレへ誘導しています。紙パンツ・パットなどを使用している方も心身状態を見ながら、可能な限りトイレで排泄ができるよう努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	生活記録や排便チェック表で食べ物や水分の摂取量、排泄状態を毎日確認しています。 (必要に応じて服薬)ラジオ体操や機能訓練など適度な運動を毎日実施しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様それぞれに合わせた温度調節や入浴剤を使用される方など、出きる限り希望に応えられるよう努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の表情や心身状態を把握し、休息が必要と感じたらお昼寝や自室で過ごす時間を持てるよう努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1週間分の薬を管理者・職員がセットし、服薬ミスのないよう管理しています。利用者様それぞれの薬事情報を職員全体で共有し、その時々心身の状態を把握して服薬支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の得意、不得意を把握、考慮し出きる範囲内で日常生活のお手伝いをして頂いています。 レク活動では、それぞれの好みにあった楽しさを感じて頂けるよう努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様のその日の体調を把握し、散歩や外気浴を行うよう努めています。 ご本人、ご家族からの希望があれば喫茶店や買い物に出かけたり、ご家族との外出も心身状態を見ながら対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブルの原因になり得るため、金銭管理は、行っていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様からの希望があれば、必要に応じて対応しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	レク活動で作成した貼り絵や、花見や夏祭りなどのイベントの写真をリビングに飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者様同士がゆっくりお話ができるようソファを置いています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や旅行に行った際の写真を用意して頂き飾っています。TVの好きな方の部屋には、TVを用意して頂いたり、ご自分の時間が過ごせるよう努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様それぞれの、その時の状況を把握し、見守りながら出来る事をして頂いてます。(掃除や洗濯など)		